

平成 27 年度 第 4 回児童福祉専門分科会 議事要旨

- 1 日 時 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 18 : 30 ~ 21 : 00
 - 2 場 所 城東保健福祉エリア保健福祉複合棟 3 階第 1・2 研修室
 - 3 出席者 (委 員) 津富委員 (会長)、浅井委員、今村委員、太田嶋委員、是永委員、酒井田委員、志村委員、杉山委員、鈴木委員、戸崎委員、錦織委員、長谷川委員、平岡委員、宮下委員、望月委員、和田委員
※欠席委員：岩崎委員、水上委員
(事務局) 平松子ども未来局長、高松子ども未来局次長、深澤参与兼子ども未来課長、松永青少年育成課長、安本幼保支援課長、糠谷参与兼こども園課長、伊藤参与兼子ども家庭課長、荒田参事兼児童相談所長補佐、高津参与兼教育総務課長、小林学校教育課長、他事務担当者
 - 4 傍 聴 者 5 人
 - 5 議 題 等 (1) 保育所等の設置認可等に係る意見聴取について
(2) 教育・保育の量の見込みと確保方策の見直しについて
(3) 報告事項
 - ① 「静岡市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例」及び「静岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部改正について
 - ② 平成 28 年度主要事業について
 - ③ 平成 28 年度の子ども未来局組織体制等について
 - ④ 日経 DUAL 「子育てしやすいまち第 1 位 静岡市」について
- 6 会議内容

議題 1 保育所等の設置認可等に係る意見聴取について

○太田嶋委員 (意見)

資料 1-2 を見ると、未だ 3 号認定子どもに対する供給量の不足を強く感じる。小規模保育事業等の新設により対応を進めているが、静岡東南及び静岡城北区域においては 2 号認定子どもの供給量も大きく不足しており、小規模保育園に通う児童が、3 歳に上がる際に受け先がないということも心配される。

2 号認定子どもの供給不足への対応としては、私立幼稚園が預かり保育の拡大や認定こども園への移行を考えていただけると良い。また、公立こども園で 2 号認定子どもを積極的に受け入れてもらいたい。施設の新設は、長期的に見れば、供給過剰となることが考えられ

るため、幼稚園や公立園の既存施設を活用することが望ましいと考える。

○和田委員（質問）

子どもが保育園に入れなかった不満を書き込んだブログが関心を集めているが、静岡市に対してこのような意見はないか。

⇒幼保支援課

現在、利用調整を行っているところであるが、本市では質問のようなご意見は聞かれない。1次選考で保留となった方については、2次選考の中で他の施設をご紹介するなどして対応している。ひとり親や両親共働き等、緊急性の高い児童については概ね、対応ができていると考えているが、必要に応じて待機児童園を活用するなどして調整していきたい。

○垣見委員（意見）

資料6を見て感動した。清水区では教育・保育施設は充実してきていることを実感している。資料1-2を見ると、葵区、駿河区では供給が不足しているようなので頑張ってもらいたい。

○是永委員（質問）

資料 1-1 P4「静岡東南区域」（仮称）ちゃいんどはうす保育園は、準工業地域内であつ新幹線や高速道路の高架も近接しており、保育所の設置場所としてふさわしい場所であるか疑問を感じる。このことについて施設設置者はどのように考えているか。

⇒子ども未来課

保育所の設置においては用途地域の制限はないが、ご指摘のとおり、準工業地域に保育所を設置することが好ましいとは考えていない。しかしながら今回の場所は、準工業地域であっても騒音、日照等については保育施設の運営に支障がないと事前調査の中で施設設置者から聞いている。

○是永委員（意見）

資料全体を通して、施設や道路等、立地状況がわかる配置図を添付してほしい。

⇒子ども未来課

次回より配置図を添付する。

○宮下委員（質問）

定員増に反対するものではないが、幼稚園では自園の定員増を行う場合、近隣園の定員の充足状況を勘案するが、保育所の場合は地域に待機児童が発生していれば、近隣園の状況を勘案せず認可するのか。

⇒子ども未来課

計画で定める量の見込みの範囲内であれば、定員増を行っていくこととなる。

○宮下委員（意見）

保育施設の定員を増やさなければならない現状は理解するが、教育・保育については中長期的なスパンで考えることが必要であり、将来的に子どもの数が減った場合、私立園は経営を維持していくことが大きな課題となる。また、単に量を確保するだけでなく、教育・保育環境などの質を確保していくことも重要である。そうした点に考慮しながら量の確保を進めてほしい。

⇒子ども未来課

計画では既存施設を活用して供給量の確保を進めることが確保の方策の第一と考えている。また、子ども・子育て新制度では、特定の区域で子どもが減ってきた場合、利用定員を下げることによって安定した運営を継続できる仕組みとなっている。さらに、区域全体で適正な供給量となるよう、公立認定こども園も含めた定員の調整を進めていきたい。

議題2 教育・保育の量の見込みと確保方策の見直しについて

○長谷川委員（意見）

資料2 P3の「参考」には「平成26年度に実施した私立幼稚園に対する意向調査」となっているが、最新の内容を反映してほしい。

⇒子ども未来課

見直しについては、直近の意向を正確に把握したうえで行う。

○長谷川委員（意見）

資料2 P3「見直しの考え方」における「他の方策による確保」とはどのようなことを考えているのか。

⇒子ども未来課

私立幼稚園の認定こども園移行により確保ができない場合は、3ページにある確保方策のとおり、既存保育施設の定員増、認定こども園等の新設、小規模保育事業等の新設により対応していく。

○錦織委員（意見）

待機児童数には、預け先があるなら働きたいという潜在的な需要が入っていない。保育施設の整備が進めばますます利用の希望も増えてくるのではないかと考える。また、社会の雰囲気として、女性が子どもを預けて働くことに抵抗があるように感じる。このような方々が

申込みしやすくなるよう社会の意識を変える働きかけが必要と考える。

○杉山委員（意見）

事前調査会議で認可をしようとする施設の確認を行うことは非常に重要なことと考えるが、本当に子どもにとって良いものなのか、中身に対する議論が不足しているように感じる。また、社会に出たい女性もいれば、家庭で子育てをしたい女性もおり、計画の見直しにあたっては、多角的な視点から子育て、子育てを支援する必要があると考える。

○津富委員（意見）

これまでの分科会では量の確保の議論が中心となっているが、質についても今後議題となることを期待したい。

○今村委員（意見）

子ども・子育て新制度施行以降、母親が働くために、子どもの預け先についての相談が増えている。今後、公立幼稚園から認定こども園に移行した園で3号認定子どもの受入を行う予定はないか。

⇒子ども未来課

旧公立幼稚園であった公立こども園において、施設整備をして3号認定子どもを受入れる予定は現時点ではない。その理由として、民間事業者の参入意欲が高いこと、公立こども園の整備は民間への補助に比べると公費負担が大きいことが挙げられる。また、公共資産の維持管理に関する考え方を定めた静岡市アセットマネジメント方針においては、公共施設の全体量を減らし、民間でできることは民間の力を活用していくこととしており、この方針は公立こども園も例外ではない。このような状況から民間事業者による供給量の確保を進めていくこととしている。

○大橋委員（意見）

本年度2号認定にあたる障がいのお子さんに係る公立こども園への申込はかなり落選したと聞いている。その結果、私立幼稚園に申込みが流れていくことになるが、加配の助成のない私立幼稚園の負担は大きいのではないか。発達障害を持つお子さんは増えていると感じており、私立幼稚園については、加配ができるような制度が必要と考える。

⇒子ども未来課

私立幼稚園では、静岡県の方から障がい児に対する加配の助成が出ている。

障がい児保育は、民間では入りづらい分野であり、公が主体となって対応していかなければならないと考える。また、本市ではいこいの家のような療育施設が不足している状況にあると認識しており、保健福祉局と連携して対応していきたい。

○太田嶋委員（意見）

様々な意見があると思うが、公立こども園の民営化を進めていく必要があるのではないかと。民営化した場合、民間事業者の創意工夫により、3号認定子どもの受入などについて、もっと柔軟に運営していくことが期待できる。公立こども園の民営化は、民間の力の活用にあたり、一つの方策として考えられるのではないかと。

⇒子ども未来課

ご指摘のとおり、民営化は民間活力の活用方法として有効な手段の一つと考える。これまでも本市では保育所の民営化を進めてきており、今後、民営化を含め、公立こども園の在り方を検討していきたい。

○津富委員（意見）

本日の議論を踏まえると、お子さんの状況に応じて、申込状況だけでなく、施設の利用可否の状況がわかれば、より中身のある議論となってくると考える。

報告事項1 「静岡市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例」及び「静岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部改正について

報告事項2 平成28年度主要事業について

報告事項3 平成28年度の子ども未来局組織体制等について

報告事項4 日経DUAL「子育てしやすいまち第1位 静岡市」について

○長谷川委員（質問）

資料3は、保育所、認定こども園、小規模保育事業の職員配置を指すものか。また特例の期間はいつまでか。

⇒幼保支援課

「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例」は保育所、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」は小規模保育事業や事業所内保育事業を指す。認定こども園については、現在、国においてパブリックコメントを実施中で、その後、府省令改正が行われる見込み。

また、国が示す特例の期間は、「女性の就業率の上昇等により保育の受け皿の拡大が急速に進んでいる間」としている。

○長谷川委員（質問）

資料4「幼児期の教育・保育の施設整備」における、既存保育施設の定員増と幼稚園の認定こども園移行の予算について、増加定員一人当たりの予算額の違いを教えてください。

⇒子ども未来課

同じ補助事業の枠組みではあるが、整備手法の違いで予算額の差が生じている。既存保育施設の定員増は、保育所の建替等に伴う整備費の助成であり、予算額の中には記載の増加定員分だけでなく、従前の定員分の整備費用も含んでいる。一方、幼稚園の認定こども園移行は、園舎の一部を活用して整備を行うことを想定しており、新たに3号定員を新設する場合の整備費用を算定している。

○杉山委員（質問）

資料3の運用にある家庭的保育者とはどういった者を指すか。

⇒幼保支援課

家庭的保育者は、保育士又は看護師、幼稚園教諭等が自治体の実施する認定研修を修了し、自治体が家庭的保育者として適当と認める者を指す。

○杉山委員（意見）

また、子育て支援員研修の地域型保育コースは学校で行う15コマのカリキュラムを60分で行うもの。保育士不足の中、保育従事者を増やす一つの方法ではあるが、こうした人たちに対する研修をしっかりと実施してほしい。

○錦織委員（質問）

資料3の2に記載される小学校教諭は、低学年の担任の先生と高学年の担任の先生では雰囲気異なるように感じられるが、担任する学年を問わず対象となるのか。

⇒幼保支援課

小学校教諭の免許取得者が対象となっており担任する学年は問わない。ただし、実際に保育施設で雇用する場合には、担任した学年の経験等を考慮するものと考えられる。

○錦織委員（意見）

自分の子どもが小学校で職業体験を行った際、子どもが夢を持つことの重要性を耳にした。幼児期ばかりに注目が行くが、子どもはその成長に応じて悩みや不安がある。そのような中、小学校や中学校でも児童が将来の夢をもつことができるような取組をしていくことが大切である。

⇒学校教育課

静岡市教育委員会では、現在「第2期静岡市教育振興基本計画」に基づいて教育を進めている。計画では、目指す子どもたちの姿として、『夢と希望を持ち、自らの未来を切り拓く「たくましく しなやかな子どもたち」』としており、これを目指して小・中学校の教育を進めている。

また、幼児教育と小学校の接続として、幼・小の先生、教育委員会、子ども未来局で話し

合う機会を設けたり、幼・小の先生による相互の授業参観を行うなど、意見交換をしながら切れ目のない教育を進めているところ。

○浅井委員（意見）

幼稚園や保育園、認定こども園など様々な施設が並立することとなるが、親の就労状況にかかわらず、全ての子どもが希望する教育・保育施設を利用できるようになると良い。

また、子育て中の保護者は早く帰れるよう配慮するなど、もっと社会全体で安心して仕事と子育てが両立できるような環境を作っていく必要がある。

○戸崎委員（質問）

資料4のママケアデイサービス事業について、新聞にも大きく取り上げられ、何人かのお母さんから期待する声を聞く。授乳期のお母さんが大きな不安を抱えていることを感じており、この事業がいつから、どこで行われるのか、具体的な取組を教えてください。

⇒子ども家庭課

本事業は、子育て中のママにホッとしてもらえるような場所を提供していきたいと考えている。現時点では、モデル事業として、7月あたりに1か所、空き家等を利用して実施できればと考えている。先輩ママとの交流等を予定しているが、様々な方のご意見を聞きながら実施内容を検討していきたい。

○望月委員（意見）

静岡県内だけでは企業が求める学生がなかなか集まらず、大都市における大学訪問や合同企業説明会で採用活動を展開している。このような活動の中で、子育てしやすいまち第1位は、男女を問わず学生は興味を示しており、これをきっかけに静岡市を認識してもらえている。このような採用活動や企業誘致等の場で利用できるのではないかと考える。

○津富委員（意見）

潜在的な利用希望者の存在を考えると量の確保はある程度の余裕があることも必要と考える。また、子ども・子育て新制度を進めていくことによって、子どもの心身の成長や健康がどのように変わっていくかモニタリングすることにより質が向上していくと考える。